

「アライアンス・バーンスタイン・財産設計 2030」の特徴

2030年頃に退職を迎える方向けです。2009年現在の年齢が40歳前後の方です。

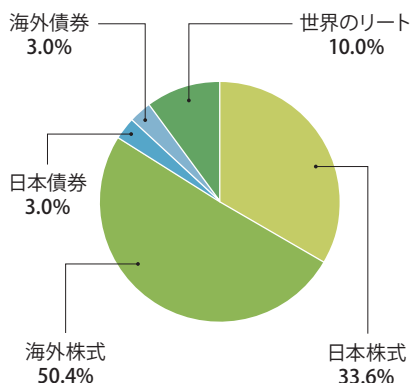
「2030年」を、ファンドの受益者が退職を迎える年（ターゲット・イヤー）と想定し、その年以降の退職後資金形成に備えるため時間経過に伴い資産配分を変更していくよう設計されています。

誕生日が1965年～1974年の方は、2030年には56歳～65歳になっています。

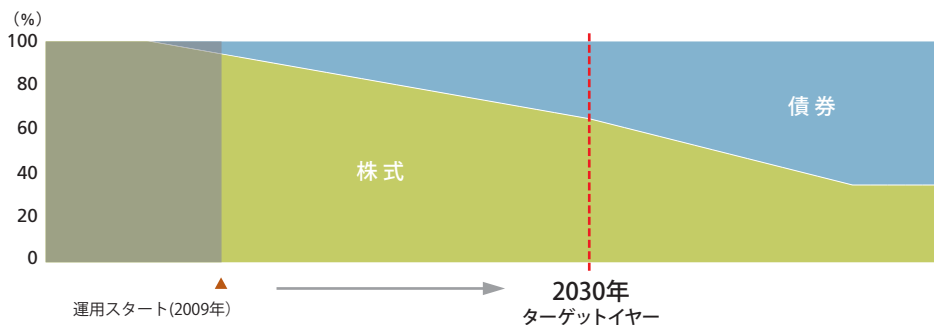
誕生日（例）	2030年の年齢
1965年生まれ	65歳
1970年生まれ	60歳
1974年生まれ	56歳

当ファンドは、役割がそれぞれ異なる国内外の様々な資産の種類（株式、債券、不動産投資信託（リート）、短期金融商品等）に広く分散投資をして、信託財産の長期的な値上がり益の獲得、または信託財産の保全とインカム収益の獲得を図ることによりトータル・リターンを最大化を目指します。

当初設定時（2009年5月29日）の
基本資産配分のイメージ図



基本資産配分の推移



上記は例示のためのイメージ図です。

「株式」には、日本株式、新興国株式を含む海外株式、世界の不動産投資信託（世界のリート）の資産クラスを含みます。

「債券」には、日本債券、海外債券、日本の短期金融商品等の資産クラスを含みます。詳しくは、裏面の「ファンドの特色」や投資信託説明書（目論見書）をご覧ください。